

議席2番

染谷 直人 議員



### 防犯対策について

**Q** 闇バイトによる強盗や特殊詐欺等が全国でも多く発生しており、多くの町民が心配していると思いますが、さらなる対策が何かできないか、当町の考えを伺いたい。

**A** 闇バイトによる強盗や特殊詐欺が首都圏を中心に相次いでおり、今般、「境町ドローンラボ・ドローンワールド」の指定管理者である株式会社ACSLと協議の結果、深夜に赤外線カメラ搭載ドローンを飛ばすことにより、強盗や車泥棒等への未然防止対策に繋がると考えている。1機で5kmをカバー可能で、将来的には画像AIを搭載し、不審者や不審車両を自動で追跡・撮影する仕組みを研究・開発予定です。住民代表への説明会を経て、3月24日には、株式会社ACSLと協定締結を予定しており今後は、ドローンによ

る夜間の防犯パトロールを実証実験したいと考えております。また、徘徊者の早期発見への活用も検討してまいります。

(町長・副町長)

### 下水道管の点検について

**Q** 埼玉県八潮市での道路陥没に際し、下水道管の点検にドローンが活用されたと聞きましたが、当町にはドローンの研究施設もあることから、活用できないか、当町の考えを伺いたい。

**A** 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、当町では2月5日・6日に下水道管約2,900mの目視点検を実施し、異常がないことを確認。3月3日から株式会社ACSLに委託し、閉鎖環境点検ドローンを活用した下水道管内部の点検を開始し、境・古河IC周辺開発地区において内部の写真撮影に成功。3月7日には直径400mm以上の下水道管65・3mの点検・検査を予定。当町の下水道管総延長17.1kmで、大部分は直径200mmの管であり、この管の点検に用いることができるドローンの開発を株式会社ACSLに要請。新技術が開発された際には、国土交通省等とも積極的に新技術導入

について協議し、国庫補助金事業等に結び付けてまいりたい。

(副町長)

### FIT終了後の売電価格の低下について

**Q** さしま環境センターでは、FIT制度終了後、売電価格が半額になる売電価格を維持する仕組が出来上がったと聞きましたが、当町としては、どのような取組なのか、伺いたい。

物価高騰対策にその仕組を、役場をはじめとした公共施設や住民にそういった仕組が展開できないか、伺いたい。

**A** さしま環境管理事務組合では、FIT制度終了後も売電価格を維持するため、小売電気事業者が余剰電力を買い取り、茨城さかいソーラー株式会社が取次店として供給することで、中間コストを削減し、売電価格を確保する地域電力の仕組みを構築。令和7年度から境町役場の施設へ導入、電気料金削減効果が見込まれる電気使用量の多い公共施設から、これに代替、電気料金削減効果を検証しながら対象施設を増やしていく予定。現在、一般家庭は対象としていないが、今後、事業を拡大していく

中で、一般家庭から電力を買い取り、新たな電源とすること等も検討してまいりたい。

(町長・企画部長)

### うなぎ工場等、境町にできた新しい施設について

**Q** 昨年度も様々な取組みをしていただきましたが、今年度も引き続き実施いただけるのか、当町の考えを伺いたい。

**A** 当町では、今年度も新たな施設が完成し、町民に還元する施策として、昨年7月には「S・Lab4th」で加工された鰻を特売価格で販売する工場祭を開催したり、今年1月の「二十歳のつどい」では、1月15日オープン「廻転鮎銀座おのぞら境町店」で使用できる2,000円クーポン券を対象者全員に配布したりする等の施策を行い、大変好評を博したところ。今後も、高齢者や地元住民に新しい施設を知ってもらう施策を議会と相談しながら検討してまいりたい。

(町長・企画部長)

### STEM教育について

**Q** 子どものうちからロボットやITに触れて「自分で学ぶ力」を